

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

### 事業名【新】防災航空センター第1事務所建屋改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災航空係 電話番号：058-385-3772

E-mail：kokul@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,420 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,420	0	0	0	0	0	0	0	5,420
決定額	5,420	0	0	0	0	0	0	4,000	1,420

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・防災航空センターは岐阜県有建物長寿命化計画の対象施設となっており、屋上・屋根、外壁の改修サイクルについては、20～30年とされており、これまで一度も改修したことが無いため、これらを改修する必要がある。
- ・すでに3階執務室及び1階格納庫では、令和3年度から度々雨漏りが発生していることから、施設全体において劣化が懸念されるため、早急に工事を進める必要がある。

参考

完成：H17年3月(2005年3月)

### (2) 事業内容

- ・施設の外壁、屋上・屋根の改修工事のための実施設計を行う。

※改修工事は令和9年度

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設の改修に係る業務であるため県が負担することが妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
旅費	5	県庁～防災航空センター、県庁～業者間（各務原市想定）往復
需用費	15	
役務費	9	事務用通信運搬費
委託料	5,391	実施設計（長寿命化）
合計	5,420	

**決定額の考え方**

財源には県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画 個別施設計画

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修に係る業務であるため県が主体となることが妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
令和9年度中に外壁、屋上・屋根を改修する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

事業内容は施設改修を行うもので、公共建築課と調整済みの事業スケジュール（R8:実施設計・R9:工事）に則り事務を進めるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)


- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)


- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)


### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
資材高騰等により工事費用が高額になる可能性が懸念される。

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
引き続き建物の適正管理に努め計画的に修理・補修する。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など
